

日越両国間の持続的発展に資する高品質な人材の育成を

ホーチミン市経済財政大学（UEF） 学長
グエン・タイン・ヤン博士



ホーチミン市経済財政大学（UEF）は、2007年に設立され、現在では約1万5千名の学生が在籍しております。学部課程37専攻、修士課程6専攻、博士課程2専攻を設置しており、国際社会に通用する人材育成を目的として、英語によるバイリンガル教育の推進に力を注いでおります。

ベトナム国内においては、企業でのインターンシップが卒業要件として義務付けられており、本学におきましても、学生の海外での実習機会を段階的に拡充しております。中でも日本は、毎年約100名の学生を受け入れてくださっており、本学学生にとって最も多くのインターンシップ先国となっております。

このような方針のもと、UEFでは「ベトナム-日本人材育成センター（UEF Center of Vietnam-Japan Human Resources Development）」を設立し、日本での有給インターンシップを希望する学生を支援するプログラムを展開しております。同センターでは、日本語学科のみならず、経営学科、英語学科、マーケティング、国際関係、ホテル・観光マネジメント等の各学科の学生を対象に、日本語および日本の企業文化に関する教育も実施し、多分野にわたる実習への参加を促進しております。

これまでに多くの熱意ある優秀な学生が、日本でのインターンシップを経て本学を卒業し、起業や日本での就業を目指して着実に準備を進めており、本学および同センターはその支援に尽力しております。

日本へのインターンシップの実施により、日越両国間の持続的発展に資する高品質な人材の育成が推進され、国際社会においても有為な人材として活躍することを期待いたしております。